



2020年8月14日

各位

会社名 株式会社 イード
 代表者名 代表取締役 宮川 洋
 (コード: 6038、東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 久岡 千恵
 (TEL. 03-5990-5330)

2020年6月期通期の業績予想と実績値との差異及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

2020年5月15日に公表した2020年6月期通期(2019年7月1日~2020年6月30日)の業績予想と本日開示の実績値に差異が生じました。また、2020年6月期において特別損失(減損損失)を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年6月期通期連結業績予想数値の修正(2019年7月1日~2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,200 | 200 | 185 | 130 | 26.67 |
| 今回発表実績(B) | 5,266 | 315 | 277 | 104 | 21.35 |
| 増減額(B-A) | 66 | 115 | 92 | ▲25 | |
| 増減率(%) | 1.3 | 57.7 | 50.1 | ▲20.0 | |
| (ご参考)前期実績 (2019年6月期) | 5,192 | 310 | 313 | 194 | 41.21 |

2. 通期業績予想と実績値の差異の理由

前回業績予想を公表した5月15日時点におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う日本政府の緊急事態宣言が継続しており、回復への道筋が見通せない状況であったことから、その時点での広告需要の急激な減少等の影響が6月末まで最大限継続するものとして、保守的に見込んでおりました。

しかしながら、感染拡大を機に始まった「巣ごもり消費」の常態化を受け、5月以降EC物販事業が予想以上に大きく伸長したほか、緊急事態宣言が5月中に解除となったことから、6月には広告需要も一部で回復するなど、売上高は前回業績予想を上回る結果となりました。また売上原価は4月以降予想を下回る水準に抑えることができ、営業利益、経常利益とも前回業績予想を上回る結果となりました。

一方で、以下3に記載の通り、特別損失の計上をしたことから親会社株主に帰属する当期純利益は前回業績予想を下回りました。

3. 特別損失の計上について

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業(CMP事業)の固定資産(のれん)の一部について、事業環境および今後の見通し等を勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失74百万円を特別損失に計上いたしました。

以上